



CSSでの表組 (第9回のテーブルを参照)

CSSでの表デザインは、xhtmlの表を基礎にしており、【table要素】【caption要素】【tr要素】【thead/tfoot/tbody要素】【col要素】【colgroup要素】【th/td要素】から構成。

display (table用の設定値)

各要素に表関連要素としての役割を割り当てることができる。

table (その要素をブロックレベルの表にする。=XHTML table要素)

inline-table (その要素をインラインの表にする。=XHTML table要素)

table-row (その要素を行にする。=tr要素)

table-row-group (その要素を本体グループにする。=tbody要素)

table-header-group (その要素をヘッダーグループにする。=thead要素)

table-footer-group (その要素をフッターグループにする。=tfoot要素)

table-column (その要素を列にする。=col要素)

table-column-group (その要素を列グループにする。=colgroup要素)

table-cell (その要素をセルにする。=th要素・td要素)

table-caption (その要素をキャプションにする。=caption要素)

表の階層

以下のような階層となる。

(階層上) th・td>tr>thead・tfoot・tbody>col>colgroup>table (階層下)

caption要素

表にキャプション（タイトル）を付ける場合は、caption要素を使用する。
table要素開始タグの直後に記述する。

タグ記述

開始タグ：<caption>

終了タグ：</caption>

属性

【id】 【class】 【title】 【lang】 【dir】 【xml:lang】

※キャプションの位置は、以下のcaption-sideで指定する。

表のキャプションの位置（caption-side）

表のキャプションの位置を指定するプロパティ。

top bottom（表ボックスの上または、下に配置する。ブロック要素となり、表ボックス（ブロックレベル）とのマージンは相殺される。）

※キャプションの行揃えは、text-alignで指定する。

表関連要素のレイアウト方法（table-layout）

表関連要素のレイアウト方法を指定するためのプロパティ。

auto（ブラウザ自動。テーブル全体を読み込んでから、その内容に応じて各列の幅を決定。デフォルト。）

fixed（固定。widthで表全体を指定する必要がある。その値で幅を固定。最初の横一行を読み込んだ段階で列の幅を決定。表示が速い。）

表のボーダーの表示モデル（border-collapse）

表のボーダーの表示モデルを指定するプロパティ。

separate（分離ボーダーモデル。デフォルト。）

collapse（統合ボーダーモデル。）

IE7では、以下の**empty-cells**と組み合わせると、ボーダーが出ない。IEを含めるのであれば、**collapse**を使用する事。

セルのボーダー間のスペース（border-spacing）

分離ボーダーモデル（**table-layout: separate**）の場合、隣接するセルのボーダー間のスペースを指定するプロパティ。上下のスペースは、相殺される。

<長さ>（上下左右のスペース。マイナス値不可。）

<長さ><長さ>（左右 上下のスペース。マイナス値不可。）

空セルのボーダーと背景の表示方法（empty-cells）

分離ボーダーモデルの場合に、空セルのボーダーと背景の表示方法を指定するプロパティ。

show（空セルのボーダーと背景が表示される。デフォルト。）

hide（空セルのボーダーと背景が表示されず、親要素の背景が透過される。）

※IE6以下は、サポートされない。

空セル

空セルとは、

- 内容が空のセル。
- visibilityでhiddenと指定されているセル。
- 内容に空白文字しか含まれていないセル。

※「 」など文字参照は空セルではない